

豊かな自然と歴史のこころがつくる活力のあるまち

とえだ

広報

Soeda
Public
Relations



春の英彦山を
駆け抜ける



MAY.2015

5

No.643

英彦山神幸祭（詳細は9ページ）



→今年も100人を超える地元ボランティアが集まり、準備から当日まで、協力してイベントを作り上げました

→ポップコーン一袋一袋に添えられた「ようこそ津野へ」のメッセージから、もてなしの心が伝わってきます



PHOTO REPORT 津野の雄大な景色の中で

津野地域活性化実行委員会（氏本良臣委員長）主催の「2015油木ダム桜ウォーキング大会」が、4月5日に行われました。雨の予報を覆し、当日は途中から晴れ間も見え、絶好のウォーキング日和となりました。今年の参加者は、ダム湖を1周する6キロコースに255人、国指定重要文化財旧数山家住宅などを巡る15キロコースに126人と、昨年とほぼ同数の合計381人。開会式では氏本委員長が「津野地域の良いところを少しでも知ってもらい、また足を運んでもらえれば嬉しい」とあいさつし、寺西町長と、津野の子どもたちによるスタートの合図で、コース別に分かれ一斉に歩き始めました。

油木ダム桜ウォーキング大会



←たいた後、歩いた地元の材料を使ったお弁当がおいしかったと、お弁当がおいしかったと話しているようでした。

約500本の桜が咲くダム周辺では、里山の雄大な景色の中、時おり吹く風に桜の花びらが舞い散るたび、参加者たちから感嘆の声が上がっていました。また津野小学校では、参加していない人も楽しめるよう、津野に関する資料の展示や神楽の映像を流したり、物産販売をしたりして参加者のゴールを待ちました。ゴールした参加者には完歩証と津野のキャラクター「つっしー」のピンバッジが手渡され、手作りのお弁当もふるまわれました。一家で参加した小学5年生、上野爾子さん（日田市）は「頑張って歩きました。お弁当もおいしかった」と話し、里山で過ごした春の一日に満足しているようでした。



←はらはらと桜の花びらが舞い散る中、スタートを切った参加者たち

↓今年もスターターを務めた津野の子どもたち



↑可愛いバルーンに喜ぶ子どもたち



↑桜まつり期間中は夜に公園内の桜がライトアップされ、幻想的な夜桜を楽しむ花見客で賑わいました

PHOTO REPORT 町の名所を巡りました

添田公園桜まつり



1 千500本の桜が咲き始める3月21日から4月5日にかけて、添田公園桜まつりが開催されました。期間中は天候にも恵まれ、日中はもちろん、夜桜のライトアップでも、持参したお弁当を広げ、花見を楽しむ家族連れなどが多く見られました。

桜が見ごろとなった3月29日は、ピエロが公園で花やハートの形の風船を配るバルーングリーティングで、訪れていた子どもたちは大喜び。また今回は、町の自然や歴史を町内外の人に広く知ってもらおうと「春爛漫！岩流伝とまち巡り」を行い、北九州市や宮若市などから35人が参加。添田公園からめんべい添田町工場、国指定重要文化財中島家住宅を歩いて巡り、町並みや歴史に触れていました。参加者は「桜が丁度見ごろで、とてもきれいで良かった。添田の美しい風景や歴史をたくさん知ることができ、初対面の人も話せて楽しかった。添田公園の枝垂桜が見ごろになったらまた来たい」と話していました。

春爛漫！岩流伝とまち巡り

①東鷹高校作法部とOB（講師：茶道裏千家名譽師範中富宗磨先生）による野点のもてなしが行われ、ほっと一息つきました②添田町郷土史会榎谷敏明さんによる、佐々木小次郎添田説についての講演会③めんべい添田町工場、昼食と買い物を楽しみました④⑤国指定重要文化財中島家住宅の歴史を学び、家の中や庭など、当時を想像しながら見学⑥参加者へ記念のお土産が手渡されました

⑧	⑥	④	②	①
⑨	⑦	⑤	③	





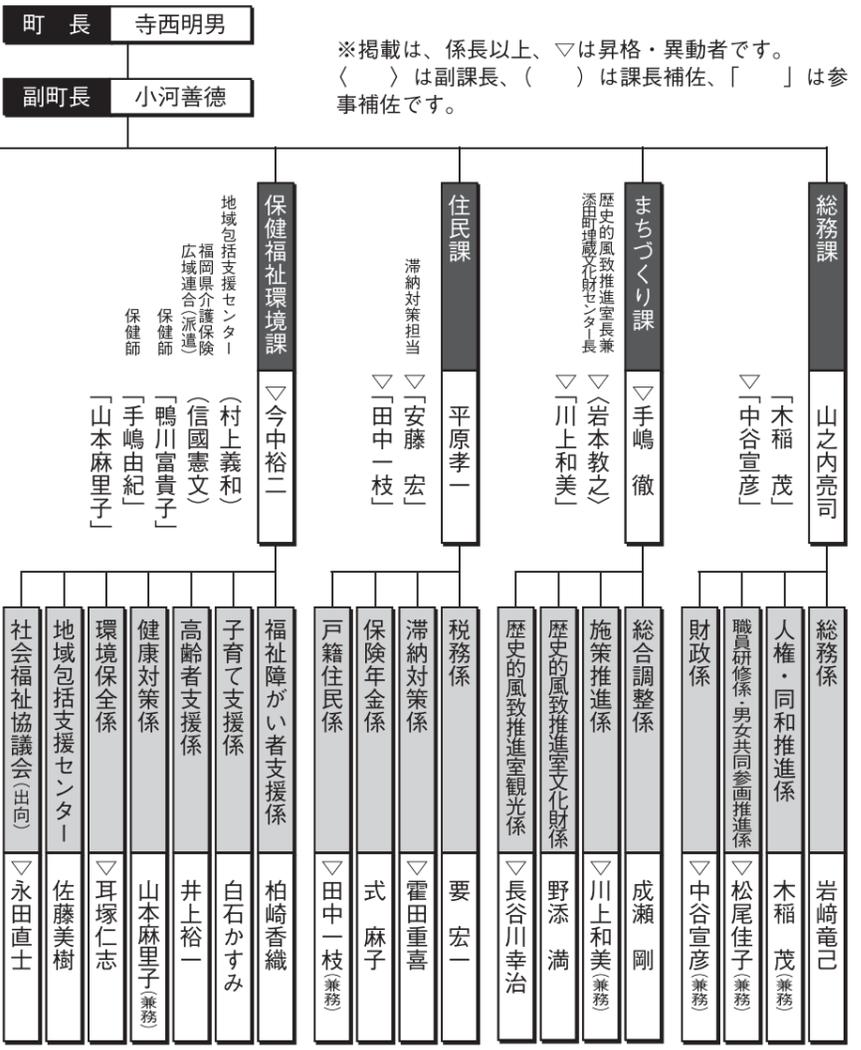
行政組織体制

平成27年度

添田町機構配置図

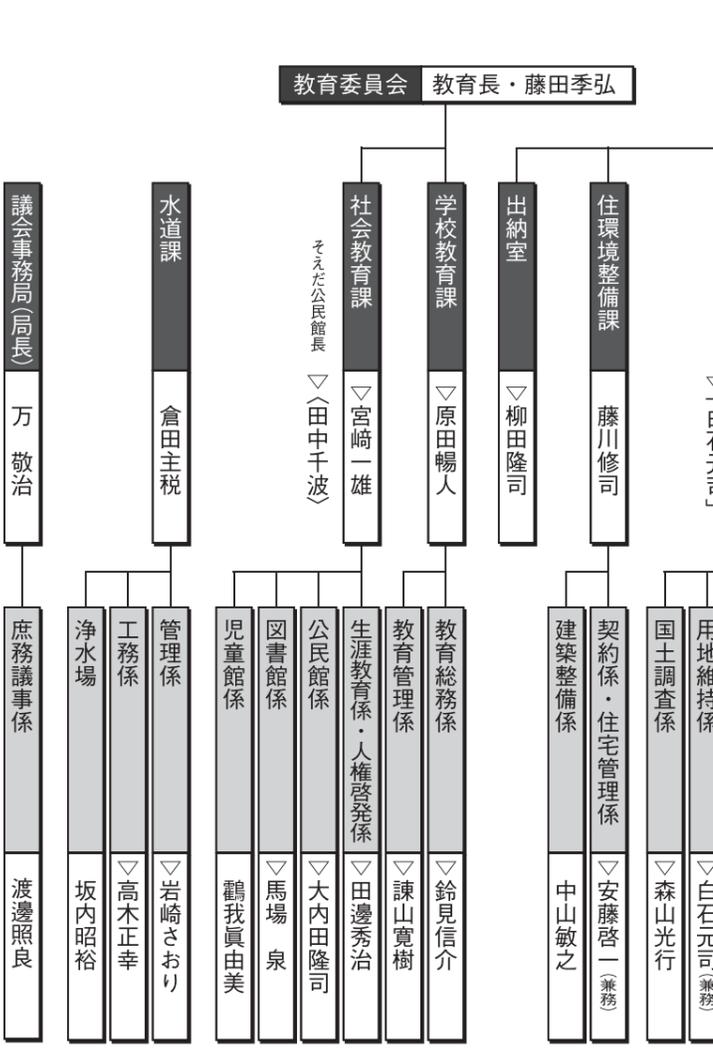
職員の配置は次のとおりです。

役場では、4月1日付で機構の一部見直しと人事異動が行われました。新体制でより一層の行政サービスの向上に努め、皆さんの声を行政に生かす開かれた町政を目指します。



添田町役場 ☎ 82-1231 (代表)

※各課の業務内容や窓口、直通電話番号は今月号と一緒に各世帯に配布したお知らせに詳しく記載しています。



職員の人事異動

昇格・異動のあった係長以上。()は前職です。

【課長・副課長】▼教育委員会学校教育課長 原田暢人(職員研修プロジェクトプロジェクト課長職員研修) ▼道路整備課長 橋本光司(建設課長) ▼まちづくり課長 手嶋徹(地域産業推進課長) ▼教育委員会社会教育課長 宮崎一雄(財政課長) ▼地域産業推進課長 中村次生(まちづくり課長) ▼出納室課長 柳田隆司(出納室課長補佐(会計管理者)) ▼防災管理課長 木戸衛一郎(保健福祉環境課長) ▼保健福祉環境課長 今中裕二(教育委員会教務課長) ▼情報広報課長 樋谷敏博(情報広報プロジェクト課長情報広報) ▼教育委員会社会教育課副課長 田中千波(教育委員会教務課参事補佐 公民館係長) ▼地域産業推進課副課長 農業委員会事務局局長 木浦和幸(財産活用プロジェクト課長補佐) ▼まちづくり課副課長 歴史的風致推進室長 兼 添田町埋蔵文化財センター長 岩本教之(まちづくり課課長補佐)

【課長補佐・参事補佐】▼地域産業推進課課長補佐 兼 有害鳥獣対策係長 浦部直行(地域産業推進課参事補佐 兼 有害鳥獣対策係長) ▼道路整備課課長補佐 兼 兼道河川係長 那須雄一郎(建設課参事補佐 兼 建設一係長) ▼道路整備課参事補佐 兼 用地維持係長 白石元司(地域産業推進課参事補佐 兼 兼用地維持係長) ▼住民課参事補佐 兼 滞納対策担当 安藤宏(保健福祉環境課付係長 添田町社会福祉協議会出向) ▼まちづくり課参事補佐 兼 兼 川上和美(まちづくり課 滞納対策係長) ▼住民課参事補佐 兼 戸籍住民係長 田中一枝(住民課 戸籍住民係長) ▼総務課参事補佐 兼 財政係長 中谷宣彦(財政課 財政係長) ▼防災管理課参事補佐 兼 防災安全係長 宮内茂(地域防災プロジェクト地域防災係長)

【係長】▼住民課滞納対策係長 霍田重喜(総務課秘書係長) ▼保健福祉環境課付係長 添田町社会福祉協議会出向 永田直士(保健福祉環境課環境保全係長) ▼住民課税務係長 要宏一(住民課税務係長 兼 滞納対策係長) ▼水道課管理係長 岩崎さおり(住民課男女共同参画推進係長) ▼まちづくり課歴史的風致推進室観光係長 長谷川幸治(地域産業推進課商工観光係長) ▼住環境整備課住宅管理係長 兼 契約係長 安藤啓一(住環境整備課住宅係長) ▼教育委員会社会教育課生涯教育係長 兼 人権啓発係長 田邊秀治(教育委員会教務課生涯学習係長) ▼防災管理課管理係長 井手上剛(財産活用プロジェクト財産活用契約係長) ▼地域産業推進課地域ブランド開発係長 野北省一(地域産業推進課地域ブランド係長 兼 特産物開発室長) ▼まちづくり課歴史的風致推進室文化財係長 野添満(まちづくり課文化財係長) ▼保健福祉環境課環境保全係長 耳塚仁志(水道課工務係長 兼 簡易水道技術管理者) ▼総務課職員研修係長 兼 男女共同参画推進係長 松尾佳子(職員研修プロジェクト職員研修係長) ▼道路整備課国土調査係長 森山光行(財産活用プロジェクト国土調査係長) ▼情報広報課情報推進係長 東洋一(情報広報プロジェクト情報推進係長) ▼教育委員会学校教育管理係長 諫山寛樹(教育委員会教務課学校教育係長 兼 人権啓発係長) ▼水道課工務係長 高木正幸(水道課管理係長) ▼道路整備課森林土木係長 木森隆志(建設課建設二係長) ▼情報広報課広報係長 小林慎之介(情報広報プロジェクト広報係長) ▼教育委員会社会教育課公民館係長 大内田隆司(教育委員会主任) ▼教育委員会社会教育課図書館係長 馬場泉(教育委員会主任) ▼地域産業推進課商工業振興係長 斉藤良平(住民課主任) ▼教育委員会学校教育管理係長 鈴見信介(住民課主任)

【新規採用】▼地域産業推進課主事 森山寛 ▼住民課主事 豊田雄大

【退職者】▼世取秀人(地域防災プロジェクト課長地域防災官) ▼島津洋己(財産活用プロジェクト課長財産活用官) ▼橋本夕貴(保健福祉環境課主事)

＝平成27年度の主な変更点＝

新しい課ができました

- 特命プロジェクトを廃止し、防災管理課(防災安全係、管理係)と情報広報課(情報推進係、広報係)を設置
- 建設課の名称を道路整備課に変更し、4つの係(道路河川係、森林土木係、用地維持係、国土調査係)を設置
- 教育委員会教務課を学校教育課と社会教育課に分散
- ＝その他の変更点＝
- 商工観光係の業務を商工業振興係と観光係に分散し、観光係をまちづくり課に移動
- 男女共同参画推進係を総務課に移動

●自分のため、家族のため、年1回の健診で1年間の安心を 特定健診・がん検診

保健福祉環境課健康対策係 (☎88-8111)

6月から年に一度の健診が始まります。加入している保険に関係なく20歳以上の女性、40歳以上の男性のいる世帯に健診の申込書を郵送しています。健診は自覚の症状がなく進行する「生活習慣病」や「がん」を早期に発見する最大のチャンスです。自分のために、家族のために、ぜひ受診することをおすすめします。



総合健診

会場/町体育館

●検査項目 特定健診、肝炎ウイルス検診、肺がん、胃がん、^{かくたん}喀痰検査、大腸がん、前立腺がん、ABC検査、ピロリ菌抗体検査

※ABC検査とは…胃が萎縮していたり、ピロリ菌に感染していると、胃の病気にかかりやすいとされています。この検査は、胃の萎縮度を測る「ペプシノゲン検査」と「ヘリコバクターピロリ菌抗体検査」を併せて行うもので、血液検査で知ることができます。ただし、町の助成や免除制度はありません。

●とき/受付8時30分～11時00分(希望日を選択)
6月▶5日☎、6日☎、7日☎、8日☎、11日☎、17日☎、18日☎、27日☎、28日☎、29日☎
10月▶17日☎、18日☎、19日☎、20日☎

検査項目	対象者	金額
特定健診	40歳～74歳の国保加入者	500円
	後期高齢者医療加入者	500円
	40歳以上の生活保護世帯	無料
肝炎ウイルス検診	40歳以上	600円
肺がん検診	40歳以上	200円
胃がん検査 (バリウム検査)	40歳以上	900円
^{かくたん} 喀痰検査	40歳以上	700円
大腸がん検診	40歳以上	500円
前立腺がん検診	50歳以上	700円
ABC検査 (ペプシノゲン+ピロリ菌)	40歳以上	3,000円 (町の助成なし)
ピロリ菌抗体検査	40歳以上	2,000円 (町の助成なし)
婦人がん検診	20歳～39歳の女性	800円
	40歳～49歳の女性	1,500円
	50歳以上の女性	1,000円
子宮がん検診	20歳以上の女性	700円

※肝炎ウイルス検診は過去に受診した人、肝炎治療中の人は対象外。

婦人がん検診

会場/町体育館

●検査項目 子宮がん(昨年受診した人は対象外)
乳がん(視触診、マンモグラフィ検査、超音波検査)
▶20歳～39歳＝視触診+超音波検査
▶40歳代＝視触診+マンモグラフィ検査+超音波検査
▶50歳以上＝視触診+マンモグラフィ検査

●とき/受付8時30分～15時(希望日を選択)
10月▶17日☎、18日☎、19日☎、20日☎、28日☎

※10月28日☎は子宮がん・乳がん検診のみとなります。
10月17日☎～20日☎の午前中は、特定健診、がん検診なども一緒に受診できます。

社会保険等被扶養者

●とき 10月17日☎、18日☎、19日☎、20日☎
●対象者 町内在住の40歳～74歳で、4月以降に被用者保険(社会保険等)から特定健診受診券が届いた人
●自己負担額 送付された書類(特定健診受診券)で確認してください。
●申し込み方法 特定健診を希望する人は、保険証と特定健診受診券を準備して健康対策係(☎88-8111)へご連絡ください。なお、受診券は事業所から送付されますが、送付時期は保険によって異なります。

◎健診を後回しにしていませんか

自分では気がついていない身体の変化があるかもしれません。自分のため、そして大切な家族のために、また病気の早期発見や健康維持への関心を持つためにも、年に1回の定期健診を必ず受けてください。

地域と行政をつなぐ 新しい行政区長が決定

行政区長は、町長に属する事務の一部を補助するために、町長が地域と行政をつなぐ行政区の代表として委嘱し、町広報紙や行政連絡文書などの配布、各種調査および報告、町施策の統括など、安心して安全な住みよいまちづくりの推進役を担っています。任期は、平成29年3月31日までの2年間です。

また、新役員が決定し、今回退任した次の行政区長と組長の皆さんが永年勤続で表彰されました。(敬称略)

- 行政区長会役員
 - ▶会長＝齊藤公志(添田中) ▶副会長＝白石光(旧三崎)、畠田学(町四)、山本文隆(真木団地)
 - ▶会計＝谷政利(桜橋)
 - ▶監査＝木森鉄(中津野)、森秋義(上落合一)
- 功労者表彰【行政区長】
 - ▶杉本幸男(英彦山・8年) ▶金森幸雄(町三・8年)
 - ▶藏本正伸(伊原・11年) ▶東征次(庄上・8年)
- 功労者表彰【行政組長】
 - ▶大島保(英彦山・8年) ▶山村強(峰地・8年)

新しい行政区長 (敬称略)			
行政区	氏名	行政区	氏名
上津野	松崎和彦	峰地団地	連波孝行
中津野	木森鉄	町一	宮田昭秋
下津野	吉尾厚	町二	廣澤健太
英彦山	福嶋繁明	町三	矢野英喜
上落合一	森秋義	町四	畠田学
上落合二	野北正利	伊原	重松孝士
下落合	秦博幸	豊川	畠田義昭
柵田	柳瀬卓	庄東	森田勝男
一ノ宮	森洋和	庄中	宮平信之
旧三崎	白石光	庄上	林萌
上中元寺	伊藤芳彦	庄西	平田和義
下中元寺	山本常夫	峰地北	竹田善浩
野田	中畑定美	桜橋	谷政利
添田東	高嶋哲也	新城	恒田巧
添田中	齊藤公志	岩瀬	加来勉
添田西	河西明治	真木	山崎武文
峰地	宮副良彦	真木団地	山本文隆



福岡県知事選挙・福岡県議会議員一般選挙開票結果

4月12日に行われた福岡県知事選挙・福岡県議会議員一般選挙の添田町開票区の結果は次のとおりです。

【福岡県知事選挙開票結果】
▶当日有権者数 9,099人
▶投票者数 4,985人



届出順位	届出政党	候補者氏名	得票数
1	無所属	おがわ 洋	4,235
2	無所属	後藤 とみかず	609

【福岡県議会議員一般選挙開票結果】

▶当日有権者数 9,099人
▶投票者数 4,979人



届出順位	届出政党	候補者氏名	得票数
1	自由民主党	おおしま 道人	891
2	無所属	こうざき 聡	3,169
3	無所属	ありた 浩二	470
4	社会民主党	ふじなか 寛之	339

つかみ取りにめんべい汁も大盛況

めんべい添田町工場さくらまつり

3月28日、29日の両日、めんべい添田町工場さくらまつりが行われました。このイベントは、昨年7月に田川商業高校跡地で稼働を始めた、めんべい添田町工場が初めて実施。会場では、めんべいのたくさん入っためんべい汁が振る舞われたり、めんべいのつかみ取りが行われたりと多くの来場者で賑わっていました。



↑めんべいのつかみ取りに挑戦する子どもたち

70歳現役社会を目指し、活動中です

シニアパワーアップ塾

添田町70歳現役社会づくり地域協議会(代一二三会長)は、高齢者がいつまでも地域で活躍できる社会の実現を目指し、シニアパワーアップ塾を行っています。3月20日には、塾生約40人が町を花で飾ろうとプランターに色とりどりの花を植栽。花は、錦風荘や特養そえだなどに飾られ、利用者の目を楽しませていました。



↑町を花で飾ろうと色とりどりの花を植えました

↓表彰を受けた藤下分団長と筑豊地区消防団ブロック長に就任した田中団長



長年の消防活動をたたえて

平成26年度消防庁長官表彰

平成26年度消防長長官表彰で、添田町消防団(田中久美男団長)第5分団の藤下達夫分団長に永年勤続功労章が贈られました。昭和55年に入団し、平成26年からは分団長として、常に先頭にたって献身的に消防団活動に勤めている藤下さんは「家族や団員の支えに感謝しています。この受章を機に、より一層精進をしていきたい」と語っていました。

また、4月から田中団長が福岡県消防協会筑豊ブロック会の会長に就任しました。今後は、本町のみならず筑豊地区8支部15消防団の代表として、責任ある大役を務めることとなった田中団長の更なる活躍が期待されます。

5千本のシャクナゲに囲まれて

シャクナゲまつり

約5千本のシャクナゲが咲く英彦山花園で、4月18日から30日にかけて、シャクナゲまつりが行われました。会場では、こんにゃくなどの特産品、シシ汁やヤマメの塩焼きなどの販売が行われ、友人と観光に訪れていた衛藤さん(北九州市)は「花も景色もきれいで大満足。食事もおいしかった」と笑顔で話していました。



↑大自然の中で、ゆったりと食事を楽しむ来場者

3基のみこしが勇壮に参道を駆ける

英彦山神宮神幸祭

4月11日と12日、1000年以上の歴史を持つ英彦山神宮神幸祭が行われ、3基のみこしが勇壮に参道を駆け抜けました。重さ約400キロのみこしを担ぎ、約800メートルある参道の石段を駆けあがる男衆たち。また地元小学生による稚児舞や、伝統あるまさかり舞、獅子舞なども披露され、神幸祭の幕開けを勇壮に飾りました。



↑ホラ貝が鳴り響く中、桜舞う参道を駆けるみこし

華やかさに魅了されました

佐々木常盤社中いけ花展〜繋ぐ〜

4月2日、佐々木常盤先生(庄上)による日本の伝統的な生け花を体験する教室が町民会館で行われ、小中学生22人が固い枝に苦戦しながらも思い思いに紅白の桃の花を竹筒に生けて楽しみました。子どもたちの作品は、4月4日と5日の両日に町民会館で開催された「佐々木常盤社中いけ花展〜繋ぐ〜」で佐々木先生や華道愛好家12人の作品と一緒に展示。会場は花々の良い香りに包まれ、来場者は日本発祥の芸術である華道の奥深さを感じていました。

↓開会式では、出瓶した小中学生も一列に並んで、長いテープカットが行われました



かわいい1年生になれるかな

各小学校で入学式

春らしい陽気となった4月9日、町内の各小学校で入学式が行われました。津野小学校の新1年生は2人。背筋をピンと伸ばして緊張した様子で迎えた入学式で「自分のことは自分でし、元気にあいさつをし、何でも一生懸命頑張ります」と、高瀬校長と約束をした2人は「はいっ」と元気よく返事をしていました。



↑皆さんに向かって、元気よく自己紹介をしました

希望を胸に新しい学校生活始まる

添田中学校入学式

添田中学校で4月8日、入学式が行われました。真新しい制服に身を包んだ新入生76人が緊張した面持ちで、在校生や保護者が見守る中、体育館に整列。新入生代表の江川桜湖さんが「きまりを守り、仲間を大切に、伝統ある添田中学校の一員として責任を果たします」と誓いの言葉を述べ、新しい学校生活が始まりました。



↑新入生を代表して誓いの言葉を述べる江川さん

↓つきたてのおいしいお餅や次々と行われたイベントで、会場は賑わいを見せていました



大盛況の中元寺春のイベント

第6回中元寺菜の花まつり

4月11日、観音寺公民館周辺で、中元寺の自然を愛する会(宮金美樹会長)主催の、第6回中元寺菜の花まつりが行われました。当日は心配されていた天候にも恵まれ、たから保育園児が可愛いダンスと歌を披露すると、会場は笑顔に包まれました。また、餅まきやビンゴゲーム、地元の食材が当たる抽選も行われ、つきたてのお餅などが無料で食べられるなど、来場者全員が楽しめるイベントが盛りだくさんでした。バザーで商品を購入した人は「良いものが安く手に入り嬉しい」と話し、菜の花やタンポポなど、春の花で彩られた会場周辺は、終始多くの人で賑わっていました。

歴史と文化の
ふる里探訪

国指定重要文化財

英彦山神宮奉幣殿

添

田町には、国指定の重要文化財が11件あります。今回

の歴まちコラム「歴史と文化のふる里探訪」は、国指定重要文化財英彦山神宮奉幣殿を紹介します。

各地の山伏が参集した 霊仙寺の大講堂

英彦山神宮奉幣殿は、明治40(1907)年5月27日、「英彦山神社奉幣殿」として、国指定重要文化財に指定されました。

英彦山はかつて、神(天忍穗耳尊アミノオシホミミノミコト・伊弉冉尊イザナミノミコト・伊弉諾尊イザナギノミコト)だけでなく、仏も祭っており、奉幣殿は霊仙寺の大講堂として使われており、山伏が参集し、お経を講じる場所でした。

江戸時代に作成された「彦山絵図」には、経蔵(お経や仏教に関する書物を収蔵する建物)や浅草観音堂、大日堂などの仏教関連の施設が多数描かれており、神と仏

が混在(しんぶんじゆうご)していたことが分かります。

細川忠興が再建、 小笠原家によって保護

英彦山の歴史を書いた「彦山流記」によれば、当時の大講堂は2階建てだったと言われていますが、永禄11(1568)年に、大友宗麟

によって焼き討ちされました。現存する建物は、江戸時代の元和2(1616)年に小倉藩主・細川忠興が再建し、寄進。元和4(1618)年に釈迦如来、阿弥陀三尊、不動三尊の7体を安置しました。

江戸時代以降は、細川家の後に小倉藩を治めた小笠原家によって6回の修理がなされ、小笠原家の



↑奉幣殿は、江戸時代に再建されたものですが、桃山風和様建築で唐様手法が一部に取り入れられています



→細川忠興【永禄6(1563)年~正保2(1645)年】
豊臣秀吉や徳川家康などの有力者に仕え、現在まで続く肥後細川家の礎を築く。関ヶ原の戦いの功績で豊前国初代小倉藩主となり、大友宗麟によって灰じんとなった英彦山の再建に尽力し、大講堂を寄進した

家紋である三階菱が、屋根頂部の棟を覆っている箱状の板(箱棟)に裝飾されており、その名残を見ることが出来ます。

神仏分離による 修験道が廃止

明治維新を迎えると明治元(1868)年の神仏分離令の発布により、神と仏を混在することが禁止され、英彦山は仏を廃し「英彦山神社」と改称しました。大講堂は焼き払う計画が立てられました

が、計画は山へ類焼の恐れがあるため、中止となりました。

大講堂は祝詞殿、祈願殿などの名称を経て、明治8(1875)年頃に奉幣殿と改称されています。奉幣殿とは、神に供物を献納する場所のことを言い、仏像を安置する場所から神へお供え物を奉げる場所へと役割を替え、現在の姿となりました。

【文・西山紘二学芸員(まちづくり課文化財係)】
※参考図書「重要文化財英彦山神社奉幣殿災害復旧工事報告書」(添田町歴史的風致維持向上計画)

文化財や伝統芸能などについての問い合わせは、役場まちづくり課文化財係(☎82-5965)までお願いします。

表紙写真&まちかど特派員募集

広報そえだの表紙を飾る写真と地域の身近な話題やできごと、PRしたい自然や情景などを投稿するまちかど特派員を募集します。



●表紙写真

◆テーマ 各号にあった季節や歴史、文化を感じる

写真「風景、イベント・行事」など

◆応募資格 町内に住所を有する人

◆応募規定 町内でデジタルカメラを使用し、過去2年以内に撮影した縦長の1枚写真で800万画素以上で撮影したもの

◆謝礼 掲載作品1点につき、千円分の商品券

◆応募方法 応募申込書に必要事項を記入して、写真データはCDやSDカードなどに収めて、持参または郵送

◆選考方法 テーマ性や表現性、瞬間性、独創性などを担当課で審査し、毎月1点選出します

●まちかど特派員

◆応募資格 町内に住所を有する18歳以上の人で特派員として公共的、中立的な観点で活動できる人

◆活動内容 住民目線で取材などを行い、その内容を広報そえだに掲載します

◆謝礼 掲載作品1点につき、千円分の商品券

◆申し込み方法 応募申込書に必要事項を記入して、持参または郵送で提出

※応募申込用紙は情報広報課で配布または町ホームページからダウンロードできます。

☎ 役場情報広報課広報係 (☎ 88-8444)



6月 生まれのお子さん 大募集!

お子さんの写真を掲載しませんか

3歳までのお子さんの写真を募集しています。写真とメッセージを添えて、情報広報課に持参、またはEメール(koudojyouhou@town.soeda.fukuoka.jp)で送信ください。6月生まれ締め切りは5月18日(日)です。

☎ 役場情報広報課広報係 (☎ 88-8444)



文芸歳時記

【川柳 添田番傘川柳会】

赤薔薇に託した愛の木霊待つ

濱田イサオ

中年のあせり鏡に見てもらい

奥田ミヨ子

行く末を覗く眼鏡が見付からぬ

伊川トシエ

子をあてにしない試練の免許証

中村ヤス子

親のスネかじりつくして娘は嫁ぐ

諫山 速人

【俳句 添田福寿句会】

雪解けの水の高鳴る英彦の川

安藤はじめ

お彼岸や老いゆく現世ゆつくりと

熊谷トシエ

今年また花爛漫の湖に憩う

鶴原 幸江

川添いの桜並木の花の影

渡辺 恵美

【俳句 天籟通信添田句会 大池青湖選】

ふるさとは争わずして山笑う

諫山 静香

友ありて八十路も楽し難の月

安永 藻香

扁平足逃げる二月に追いつけず

宮崎 清美

聞き上手なぐさめ上手桜餅

牧野八寿子

草萌ゆる庭に踏み出す試歩一步

森田 竹子

下萌の風は鉄鎖の影鳴らす

大池みどり

【短歌 春扇短歌会 筑紫支社】

去年に比べ今年は元氣と安らひつつ

大塚 成子

三年連記の日記書きゆく

五十嵐田鶴

狭庭には散りしく白い利休梅

平井 朝子

風に吹かれて土に還れる

五十嵐田鶴

友と来し玄界灘の海原に

平井 朝子

●俳句・川柳を募集します

6月号に掲載する俳句・川柳を募集します。5月18日(日)までに役場情報広報課に連絡してください。
☎ 役場情報広報課広報係 (☎ 88-8444)



教育のひろば

▶新年度が始まり1か月が経ちました

新年度が始まり、各小・中学校の入学式も厳かの中にも輝きと希望を持って終了することができました。小学校の入学式では、児童たちのハキハキとした返答に感動し、また期待と不安の入り混じった様子を感じました。

子どもたちは添田町の「宝」であると、ある来賓の方がおっしゃっていましたが、確かに昔も今も子どもが宝であることは変わりません。少子化が国家的課題となっている社会状況下、少子化対策も重要ですが、今いる子どもたちの健全な成長、そして健全な環境づくりが必要です。そのためには、保護者の方々、地域の方々、学校、そして行政が共通認識や責任感をもって子ども達を支えなくてはなりません。



添田町は今回、よりきめ細かな住民サービスが行えるよう組織を改編。同様に教育委員会も行政としての責任が果たせるよう、より充実した教育施策の立案、円滑な遂行を目標に、学校教育課と社会教育課に分課しました。

▶「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正(施行日平成27年4月1日)

地方教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、そして首長との連携強化を図るとともに、地方に対する国の関与の見直しを行うための改正です。

【今回の主な改正点】

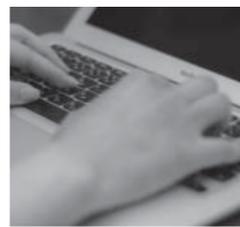
- ①教育委員長と教育長を一本化した責任者「教育長」の設置
- ②教育長は、教育委員会の会務を取りまとめて管理し、教育委員会を代表する
- ③教育長は、首長が議会の同意を得て直接任命・罷免を行う
- ④教育長の任期は3年とする(委員は従前どおり4年)
- ⑤全ての地方公共団体に首長主宰の「総合教育会議」を設置する

※ただし、添田町においては現教育長の任期満了(平成29年12月17日)までは旧法が適用されます。

社会状況の変化や住民ニーズの多様化など地方教育行政が迅速に対応できるよう、国は法律改正を行い、添田町は組織改編を行うなど、第5次総合計画に掲げる「豊かな心と生きる力が育まれ、文化が躍動するまちづくり」を目標に施策を進めてまいりますので、町民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

問 教育委員会学校教育課 (☎ 82-5963)

「全国農地ナビ」で農地台帳を閲覧できます



農地法が改正され、平成27年4月から農地台帳が公表されるようになりました。農業委員会事務局窓口では書面で、インターネットでは、全国農地ナビ (<http://www.alis-ac.jp/>) にて農地情報が閲覧できます。

後期高齢者医療広域連合では、被保険者を対象に、生



後期高齢者の皆さん 健診は毎年受けましょう

※④については、戦没者などの死亡時まで引き続き1年以上の生計関係を有していた人に限りです。

▼支給額 額面25万円、5年償還の記名国債

▼請求期限 平成30年4月2日(日)

問 役場保健福祉環境課福祉障がい者支援係 (☎ 82-1232)

後期高齢者医療広域連合では、被保険者を対象に、生

生活習慣病の予防および早期発見、早期治療を目的として健康診査を実施しています。被保険者全員に、4月下旬に受診票とお知らせを送付します。

ただし、生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症など)の治療を受けている人などは対象となります。

▼受診期間 平成27年4月下旬～平成28年3月31日(年1回)

▼自己負担金 500円

▼受診の方法 健康診査の実施医療機関で個別予約して受診

問 福岡県後期高齢者医療広域連合会お問い合わせセンター (☎ 092-651-3111)

問 添田町農業委員会 (☎ 82-1237)

農業 農地の用途変更などには申請・届出が必要です

農地の所有権移転や、住宅用地、駐車場など農地以外のものに用途を変更する場合、農地法の申請・届出等の手続きが必要です。また、現状が宅地・山林等で、登記地目が農地(田・畑)の場合も手続きが必要です。詳しくは添田町農業委員会までお問い合わせください。

問 添田町農業委員会 (☎ 82-1237)

春の農作業安全月間実施中

4月・5月は、春の農作業安全月間です。農繁期となります。自分自身や周りの人が事故に巻き込まれないように、安全意識をもち農業機械・器具の点検や適正な操作をし、安全な作業を心がけましょう。

問 添田町農業委員会 (☎ 82-1237)



身体障害者(児)の巡回相談を行います

▼とき 6月9日(火) 10時～15時 (受付9時30分～14時)

▼ところ オークホール

▼内容 肢体不自由の補装具費の支給・修理の要否判定やその他身体障害にかかわる相談 ※聴覚障害の診断、補聴器の補装具費の要否判定、身体障害者手帳の診断書作成は行いません。

▼持ってくるもの 印鑑、身体障害者手帳

※補装具の再交付や修理を希望する場合は必ず本人が来場し、

前回の交付を受けた補装具を持参してください。

問 役場保健福祉環境課福祉障がい者支援係 (☎ 82-1232)

平成27年度戦没者追悼式

【福岡県戦没者追悼式】

▼とき 8月15日(土) 県立福岡武道館(福岡市中央区)

▼参加資格 先の大戦における福岡県出身の戦没者および一般戦災死没者の配偶者、三親等以内の血族および二親等以内の姻族で福岡県に在住の人

▼参加費 無料

【全国戦没者追悼式】

▼とき 8月14日(土)～15日(日) 本武道館(東京都)

▼参加費 旅費の一部補助あり

※詳細は問い合わせください。

▼申込期限 どちらも5月29日(金)

問 役場保健福祉環境課福祉障がい者支援係 (☎ 82-1232)

戦没者などの遺族へ 特別弔慰金が支給されます

戦没者などの死亡当時の遺族で「恩給法による公務扶助料」や「戦傷病者戦没者遺族等援護法による遺族年金」などを受けられない場合に、第10回特別弔慰金が支給されます。対象となるのは戦没者などの死亡当時の遺族で、次の順番による先順位の遺族一人です。

▼対象者 ①平成27年4月1日までに戦傷病者戦没者遺族等援護法による弔慰金の受給権

◎聴覚障害者の手続きをスムーズに 手話通訳者を設置中

問 役場保健福祉環境課 (☎ 82-1232)

聴覚障害がある人が役場でさまざまな手続きをする際に、設置手話通訳者がお手伝いをします。手話通訳者は役場1階保健福祉環境課福祉障がい者支援係に配置しています。

▶とき 毎週火曜・金曜(祝日は除く)

8:30～17:15

4月から聴覚障害者の担当として、保健福祉環境課窓口にあります。派遣依頼や手続きなど、気軽に何でも相談に来てください。



手話通訳者 山邊郁子さん

平成27年度の町税等納付期限 納税は口座振替が便利です 期限内納付にご協力ください

税目・納付期	町県民税	固定資産税	軽自動車税	国民健康保険税	後期高齢者医療保険料
5月	6/1(日)	1期全期	全期		
6月	6/30(木)	1期全期			
7月	7/31(金)	2期		1期	1期
8月	8/31(日)	2期		2期	2期
9月	9/30(火)	3期		3期	3期
10月	11/2(日)	3期		4期	4期
11月	11/30(日)	4期		5期	5期
12月	1/4(日)	4期		6期	6期
1月	2/1(日)			7期	7期
2月	2/29(日)			8期	8期
3月	3/31(火)				9期

税金などの納付に口座振替を利用すると何度も役場や金融機関に足を運ぶ手間が省け、納め忘れの心配もなくなります。

◎口座振替の取り扱い金融機関

○福岡銀行(本支店) ○田川農業協同組合(本支所) ○田川信用金庫(本支店)

○ゆうちょ銀行(郵便局)

◎口座振替に必要なもの

- 預(貯)金通帳 ○印鑑(通帳の届出印)
- 添田町口座振替依頼書(金融機関窓口または役場住民課税務係にあります)

◎口座振替日

町税等の振替日は、納期月の25日(振替日が土日・祝日の場合は、翌営業日)です。残高不足などにより振替ができない場合はその分の再振替は行いませんので、税務係と保険年金係から郵送される納付書(口座振替不能通知書および納付書)で町指定の金融機関で納めてください。

※納付は、期別ごとまたは全期で振替希望を選択できます。

※国民健康保険税と後期高齢者医療保険料は期別ごとの振替納付となります。

問 役場住民課税務係 (☎ 82-1234) 役場住民課保険年金係 (☎ 82-5966)

人の動き

3月末日現在()は前月比

- 人口 10,622人 (-45人) ●出生 5人
- 男性 4,975人 (-28人) ●死亡 20人
- 女性 5,647人 (-17人) ●転入 23人
- 世帯数 4,869世帯 (-7世帯) ●転出 53人

相談

- 心配ごと相談 (そえだジョイ/10時~15時)
5月12日(火)・5月19日(火)・6月2日(火)
- 補聴器相談 (役場ロビー)
5月8日(金) (15時~) / 13日(火) (13時~)
- 登記に関する相談が予約制になります
福岡法務局田川支局で行っている登記に関する相談が6月1日(火)から予約制になります。相談を希望する人は電話で予約してください。
☎ 福岡法務局田川支局 (☎ 44-1426)

事件事故発生状況

3月の事件発生状況 ()内は昨年同月比		
種類	発生件数	今年の累計
自動車盗・オートバイ盗	0(±0)	0(-1)
性犯罪	1(+1)	1(+1)
車上ねらい	0(±0)	0(±0)
空き巣・忍び込みなど	0(-2)	3(-3)

3月の事故発生状況 ()内は昨年同月比		
種類	発生件数	今年の累計
事故発生(物件+人身)	20(+3)	45(-5)
死亡者	0(±0)	0(±0)
負傷者	6(+3)	14(+3)

お知らせ

- 基礎手話講習会
▶講習期間 5月29日(土)から(全24回)
毎週火曜日・金曜日 19時~21時
▶ところ 田川市民会館/無料
▶対象者 町内在住で手話講習会(入門編)を修了している人
▶申込期限 5月20日(火)
☎ 役場保健福祉環境課福祉障がい者支援係 (☎ 82-1232)

- 春の交通安全町民運動
▶期間 5月11日(火)~20日(火)
期間中は添田小学校児童などによるパレードや、町内主要交差点での街頭キャンペーン・指導などを行います。ご協力をお願いします。
☎ 役場防災管理課防災安全係 (☎ 82-4002)

- 編集後記
▶長男の初節句。毎朝、鯉のぼりをあげると五月晴れの空に薫風をうけて悠々と泳いでいます。(小林)

「光と影に魅せられて」斜光線クラブ写真展 2015



- ▶期間 5月5日(火)~5月17日(日)
※12日(火)は休館です
- ▶時間 5日(火) 13時~17時
6日(水)~16日(土) 11時~17時
17日(日) 11時~16時
- ▶ところ ギャラリーこのはずく
- ▶入場料 無料
- ☎ 珈琲館姫紗羅 (☎ 85-0188)



- ▼募集期限 6月19日(金)まで
福岡県男女共同参画推進課 (☎ 092-643-3391)
- ▼福岡県女性海外研修事業「女性研修の翼」団員募集
- ▼研修期間 11月8日(日)~14日(土)
- ▼研修国 デンマーク
- ▼募集人数 20人(選考あり)
- ▼研修内容 国の男女共同参画推進や、介護と仕事を両立する企業・団体の取り組みなど
- ▼海外研修費用 28万円程度
- ▼応募資格 県内に居住する平成27年4月1日現在20歳以上65歳以下の女性で、団体や企業で男女共同参画などに関する活動を積極的に進めている帰国後も活動を期待できる人。

- ▼お知らせ
- ▼平成27年度 添田町成人式
平成27年度の添田町成人式の日程が決定しました。
▼とき 平成28年1月10日(日)
- ▼募集期間 5月7日(火)~6月12日(金)
- ▼申込先 役場総務課男女共同参画推進係(☎ 82-4000)
- ※事前・事後研修があります。
☎ 福岡県男女共同参画推進課 (☎ 092-643-3391)

- ▼お知らせ
- ▼平成27年度 調理師試験
▼とき 10月10日(土)
- ▼ところ 第1会場 西南学院大学(福岡市)、第2会場 福岡県中小企業振興センター(福岡市)
- ▼願書受付期間 5月18日(火)~6月29日(日)

- ▼館内清掃のため そえだジョイ休館します
▼休館日 5月25日(月)~26日(火)
☎ そえだジョイ (☎ 82-5600)
- ▼添田町社会福祉協議会へ
○香典返し ▼野北弘子(英彦山) ▼藤下秀陸(上落合二) ▼中嶋廣士(上中元寺) ▼伊藤トシ子(伊原) ▼松本道博(伊原) ▼田中一晴(庄上) ▼故 西田秋夫(真木)
- ▼公益社団法人調理技術技能センター 調理試験担当
☎ 03-3667-1815
- ▼ありがとうございます (敬称略)

- ▼募集 農産加工セミナー 受講者を募集します
野菜や果物をジャムなどに加工してみませんか。加工方法や食品衛生について専門の講師が指導します。皆さんの参加をお待ちしています。
- ▼とき 5月27日(火) (第1回目)
- ▼ところ オークホール
- ▼参加費 無料
- ▼申込期限 5月22日(金)
- ※全6回開催。2回目以降の日は、受講者に通知します。
- ☎ 役場地域産業推進課地域ブランド開発係 (☎ 82-1237)
- ▼町営住宅空き家入居者募集
▼抽選日 6月23日(火)
- ▼ところ オークホール
- ▼募集団地 (改)峰地団地、真木団地
- ▼申込期間 5月8日(金)~29日(日) 17時15分まで
- ☎ 役場住環境整備課住宅管理係 (☎ 82-1235)

- ▼町営住宅家屋補修等 作業員を募集します
- ▼募集人数 1人
- ▼業務内容 町営住宅維持・修繕業務など
- ▼雇用期間 7月1日~平成28年3月31日(予定)
- ▼募集期間 5月11日(月)~6月12日(金)
- ▼賃金 月額15万円(雇用・健康保険料含む、通勤手当別途支給)
- ☎ 役場住環境整備課住宅管理係 (☎ 82-1235)
- ▼第14回福岡県男女共同参画表彰候補者募集
福岡県では、地域や職域など

- ▼部門 ①社会における女性の活躍推進 ②困難な状況にある女性の自立支援 ③女性の先駆的的活動
- ▼応募方法 推薦書に必要事項を記入し福岡県男女共同参画推進課に郵送または持参。推薦書は役場男女共同参画推進係または福岡県のホームページで入手できます
- ▼福岡県男女共同参画推進課の男女共同参画の推進に関して、他の模範となる活動を積極的に推進していくため、3つの活動部門で表彰候補者を募集します。

添田町消防団 協力事業所表示制度

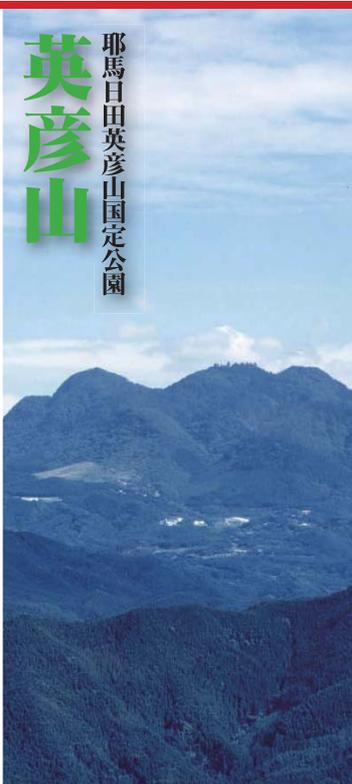
この制度は、添田町消防団に積極的に協力している事業者や団体に対して、消防団協力事業所表示証を交付し、地域防災を担う消防団の活動環境の整備を行うと同時に、事業所などの社会貢献をアピールすることで、イメージアップにもつなげる制度です。

- ▶認定基準 従業員が消防団員として入団している、従業員の消防団活動について積極的に配慮している など
- ▶認定されると 申請書と関係書類を審査し、認定された場合は消防団協力事業所表示証を交付します。表示証は社屋に掲示でき、マークを自社ホームページなどに掲載することができます
- ▶有効期間 交付された日から2年間

※申請方法など詳しくは問い合わせください。
☎ 役場防災管理課防災安全係 (☎ 82-4002)



国指定重要文化財
銅鳥居



耶馬日田英彦山国定公園
英彦山



中岳山頂に鎮座する
上宮



天然記念物
鬼杉

英彦山山開き

第50回

前夜祭
5月30日 土
19時～／英彦山青年の家

山頂祭
5月31日 日
11時～／英彦山上宮

今年で50回目となる英彦山山開き。夏山シーズンを迎えた新緑の英彦山は、景色も空気も最高です。今年は家族や友人と大自然を満喫しませんか。



町長室 広報そえだ

今月は4月から就任した小河善徳副町長です。▼副町長の小河です。4月1日に着任し、今は日常業務に励みながら、一日も早く添田町のことを熟知し、皆さんのお役に立てるよう、町の施策や課題を猛勉強中です。その中で感じることは、添田町の地域資源の豊かさです。私はこれまで町外の人間で、添田町のことは知らないことばかりでしたが、いざ町の中に入り、まちの風土、歴史、文化、住民の皆様に触れるごとに、この町の底知れない大きな可能性を感じました。▼英彦山をはじめとする数々の歴史的・文化的遺産は、国内でも有数の由緒ある重要文化財ばかりで、歴史に裏付けられた、大変インパクトのある貴重な資源ばかりです。さらに、6～9世紀ごろとされる英彦山の開山から、山伏修験の山として名声を極めるとともに往来客増加による町の繁栄。その後英彦山が修験道としての役割を終えてもなお、近代には炭鉱の町として繁栄してきた歴史は、この土地が持つ大きなチカラのようなものを感じずにはいられません。また、日々住民の皆様にお会いしてお話させていただくうちに、一人一人がとても明るく、元気に生活されており、さらに「地域が元気になるために」との思いで、地域社会の為に自分たちができることを進んでやっつけようとする方が沢山おられることも知りました。▼私はこのまちに人のつながりと温かさを感じます。地方の人口減少・少子化などが社会問題として取りざたされる中、町にとつても無視できない時を迎えておりますが、今こそ、一人一人がまちの問題を自分のこととして「何とかしなければ」と立ち上がり、絆を強める良い機会なのかもしれません。▼日本総合研究所調査部主席研究員の藻谷浩介さんは、著書『里山資本主義』（角川書店）の中で「持つべきものはお金ではなく、第一に人との絆だ。人としてのかけがえのなさを本当に認めてくれるのは、あなたからお金を受け取った人ではなく、あなたと心でつながった人だけだからだ。（略）第二は、自然とのつながりだ。失ったつながりを取り戻すことだ。自分の身の回りに自分を生かしてくれるだけの自然の恵みがあるという実感を持つことで、お金しか頼るものなかった人々の不安はいつの間にかぐつと軽くなっている。」と書かれています。人生の豊かさは、収入や消費の額で決まるのではなく、人や自然とのつながりの中でこそ実感できるということだと思えます。▼人口増加も若年世帯の定住・移住も大切です。しかし、それ自体が目的ではなく、人々が日常生活の中で豊かさを感じられるまちづくりこそが目的であることを忘れずに、あらゆる施策に取り組んでいきたいと考えます。それはまさに、「添田町の総合計画の理念に掲げる「豊かな自然と歴史のこころがつくる活力のあるまち」に直結しています。そうしたまちであれば、逆に若い人たちが好んで住み続けてくれるに違いありません。

広報
そえだ

平成27年5月号

5
2015

発行／添田町 編集／情報広報課
〒824-0691 福岡県田川郡添田町大字添田2151番地
☎0947-82-1231 光電話050-6621-4309 FAX0947-82-2869
ホームページ http://www.town.soeda.fukuoka.jp

印刷／丸五印刷株式会社
※広報そえだは再生紙を使用しています